

2018年度支部活動【北陸支部】 in 福井

「地域の日本語教育を支える継続可能な仕組みとは？ —福井県内の小学校の事例から—」

主催：公益社団法人日本語教育学会 後援：福井大学語学センター

【日時】2018年9月1日（土）14：00～16：00（開場・受付開始13：30）

【会場】大学連携センター「Fスクエア」706・707会議室（アオッサ7階）

【住所】〒910-0858 福井県福井市手寄1丁目4番地の1 アオッサ7階

【アクセス】JR福井駅東口すぐ 詳しくはこちら <http://f-leccs.jp/fsquare/>

【対象】外国人に対する日本語教育・日本語学習支援に携わる方、関心のある方であればどなたでも参加できます。「日本語教育」が教室の中で、そして教室の外で地域に貢献できること、それを支える仕組みについてみなさんで考えたいと思います。

【定員】先着40名

【内容】外国にルーツを持つ子どもの支援がどうすれば安定的に継続するのかについて、支援の仕組みの構築と維持という観点から、福井県内の小学校の事例をもとに考えます。事例となる小学校は大学と同じ市内にあり、学生が定期的に通って子どもの支援を行っています。この支援活動を取りまく環境を観察し、支援活動の背景に様々な間接的な支援があることを確認します。その上で、日本語教育の専門家がどのように関わることができるのかを考えます。

総合司会：桑原陽子（福井大学語学センター）

14：00～ 開会挨拶・趣旨説明

14：05～ 報告1「福井市A小学校における支援」 半原芳子氏（福井大学連合教職大学院）

報告2「公益社団法人ふくい市民国際交流協会の取組」

辻端聡子氏（公益社団法人ふくい市民国際交流協会）

報告3「福井大学の取組」

桑原陽子（福井大学語学センター）

問題提起

半原芳子氏（福井大学連合教職大学院）

15：05～ テーブルセッション

15：35～ 全体セッション

ファシリテーター 隼瀬悠里氏（福井大学連合教職大学院）

【申込方法】「こくちーず」の右記サイト <https://www.kokuchpro.com/event/NihongoFukui/>

または右記QRコードからお申込みください。本企画は、福井大学語学センター主催の特別企画シンポジウム「【地域×日本語教育】の可能性」の一環（シンポジウム[2]）として行われます。ぜひ午前中のシンポジウム[1]もあわせてご参加ください。申込の際は、「シンポジウム[1]（午前）のみ参加」「シンポジウム[2]（午後）のみ参加」



「シンポジウム[1][2]両方参加」から1つお選びください。参加費は午前・午後とも無料です。

【問合せ先】※お問合せはEメールにてお願いします。

公益社団法人日本語教育学会 北陸支部委員 桑原 陽子（福井大学語学センター日本語教育部）

〒910-8507 福井市文京3-9-1 電話：0776-27-8599（代） E-mail：a043140@u-fukui.ac.jp